



第 78 号
平成22年
5 月 発 行

望洋荘の宝を大事にしましよう

「百五歳長寿」の山際さんを祝う

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

元気で、自分の足でしっかりと歩く山際さん、五月一日百五歳の誕生日を迎えました。誠におめでとうございます。声をかければはつきりと、「ハイツ」と返事もするし、「アリガトウ、ドーモネ」と挨拶も返ってくる。大好きな相撲のテレビ中継には四股を踏む姿を見ながら「ドッコイショ」と大きな掛け声が響く。最良（ひいき）力士の取り組みを、食い入るように画面を見つめるその姿は、我が家の孫の瞳の如く生き生きとしている。私どもの「望洋荘」の宝であります。益々の御長寿を乞い願うところであります。ちよつと寿命について。寿命には二種類あります。「平均寿命」という言葉で表わされる生理的な年齢と、世界保健機構(WHO)が提唱している「健康寿命」です。「健康寿命」とは、寝たきりにならないで、一人では自立出来る寿命を指しています。百五歳になってもなお豊饒（かくしゃく）としている山際さんが良い手本です。

寝たきりになり生活の質が損なわれれば、長命でも、それは健康寿命とは言いません。日本は世界一長命な国ですが、寝たきり期間は、男性において約六・三年、女性においては約七・九年（七年前までのデータですが）と、実は世界一寝たきり期間が長い国です。この寝たきりの期間には介護が必

要となります。寝たきりの原因として、最も多いのは、脳血管疾患、骨折（骨粗鬆症など）、認知症等ですがそれだけでもおよそ三分の二を占めていると言われています。

平均寿命が延びたのは、医療の進歩のおかげであるのは間違いないありません。しかし、医療は必ずしも健康寿命を延ばすことは出来ません。せつかく長生きしても寝たきりや認知症状態では誰かの介護支援が必要になります。せめて逃れられない死の直前まで日常生活の最低限は自分で行い、楽しく健康寿命を延ばし、平均寿命との差を短くすることを願ってゆきたいものです。

日本は世界一の長寿国になったにもかかわらず、長生きしたくないという人が四割にも及び、老いるのが不安だと言う人が約八割以上もいるという統計があります。その理由として、寝たきりや認知症になる不安を持っている人が約八割。また、病気になるのが不安だという人が約七割。心配する病気としては、ガンで七七％、認知症が実に七〇％という集計が出ています。

望洋荘に住む私たちは、「健康寿命」を維持し続ける百五歳長寿の山際さんに長寿の秘訣を学び、老後への不安を吹き消したいものです。



山際イクヨ様（105歳）誕生会

5月1日（土）午後2：30から行われた誕生会でお祝いの花束を受取る山際さんです。

「山際イクヨ様 一〇五歳誕生会」

理事長の巻頭の挨拶にもございましたが、五月一日（土）午後二時三〇分より、望洋荘の最高齢者であります山際イクヨ様の一〇五歳の誕生会を行いました。誕生会には御家族様もお祝いに駆けつけられ、花束やプレゼントの贈呈、お祝いのケーキは山際さんに入刀して頂きました。みんなからのお祝いの言葉に「ありがとう」と元気に応えられました。山際さんは私達望洋荘の宝です。元気に長生きして下さい。



「子供神輿」 豊間二区子供会様

五月四日（火）一〇時三〇分元気な掛け声とともに豊間二区子供会のみなさんが神輿を担いでやって来ました。子供神輿も今年で六回目を迎え、毎年元気な子供達に会える事をみんなで楽しみにしています。威勢のよい掛け声と活気ある若い力に、入居者様も元気を貰いました。また、手作りの心温まるプレゼント有難うございます。大切にお部屋に飾らせていただきました。



「母の日」 望洋荘家族会

五月九日（日）「母の日」に望洋荘家族会様よりカーネーションの鉢植えのプレゼントがありました。赤とピンクの花がとても綺麗でした。当日は「カラオケ倶楽部」の活動もあり、母の日にまつわる歌「おかあさんの歌」「おかあさん」「別れの一本杉」「影を慕いて」などをウクレレとギターの伴奏で、みんなで楽しく歌われました。



「一診療所における四半世紀にわたる患者動向の検討」
・・・其の二

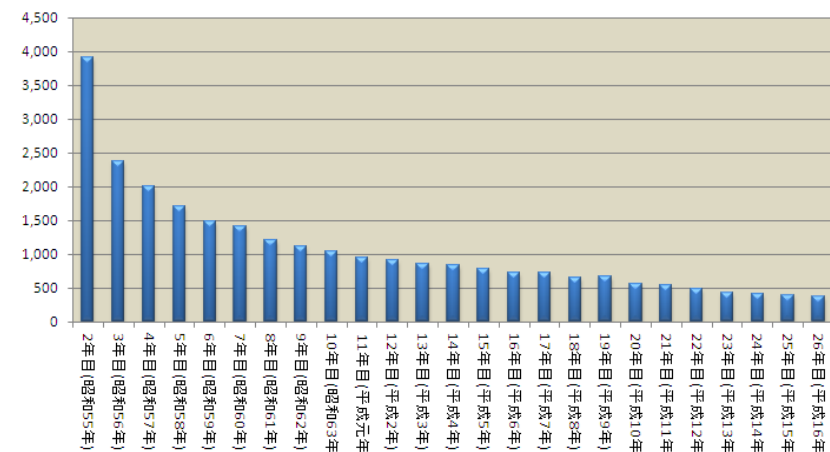
いわき市に於ける一診療所（有床）の外來・入院で来院した患者動向について検討した。少子高齢化して行つたこの四半世紀の経過がこの調査でどの様に推察されるか興味のある所である。
今回は開設二年目を主にして報告する。

診療所（有床診療所）における四半世の患者動態（昭和55年）

① 2年目来院患者総数 3,920名（うち 男性2,002名 女性1,918名）

2年目新規来院患者総数 2,447名（うち 男性1,247名 女性1,200名）

② 2年目来院患者全体のその後の再来院状況 ※ただし、2年目のみの方は790名



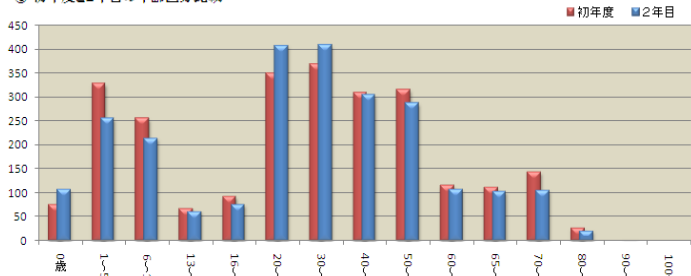
2年目 (昭和55年)	3年目 (昭和56年)	4年目 (昭和57年)	5年目 (昭和58年)	6年目 (昭和59年)	7年目 (昭和60年)	8年目 (昭和61年)	9年目 (昭和62年)	10年目 (昭和63年)	11年目 (平成元年)
3,920	2,374	2,013	1,706	1,494	1,403	1,200	1,112	1,037	940
12年目 (平成2年)	13年目 (平成3年)	14年目 (平成4年)	15年目 (平成5年)	16年目 (平成6年)	17年目 (平成7年)	18年目 (平成8年)	19年目 (平成9年)	20年目 (平成10年)	21年目 (平成11年)
907	852	829	789	723	721	647	666	562	539
22年目 (平成12年)	23年目 (平成13年)	24年目 (平成14年)	25年目 (平成15年)	26年目 (平成16年)					
494	427	415	385	373					

① 二年目の来院患者総数は男性が八十四名多い、三九二〇名である。

② 二年目の新規来院患者は二四四七名（但し初年度は二五四七名）

年度別にみた再来院状況は、一〇年目までは全体の二十五%が来院し、その後は徐々に一〇%前後に減少している。

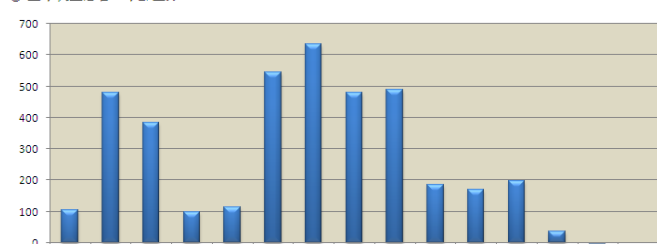
④ 初年度と2年目の年齢区分比較



	0歳	1～5歳	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
初年度	75	327	254	67	92	349	367	307	315
2年目	106	254	213	61	75	406	407	303	286

	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	合計
初年度	115	110	143	26	0	0	2,547
2年目	107	103	105	20	1	0	2,447

⑤ 二年次来院者の年齢区分



0歳	1～5歳	6～12歳	13～15歳	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳
106	479	385	98	113	545	633	480	489	187

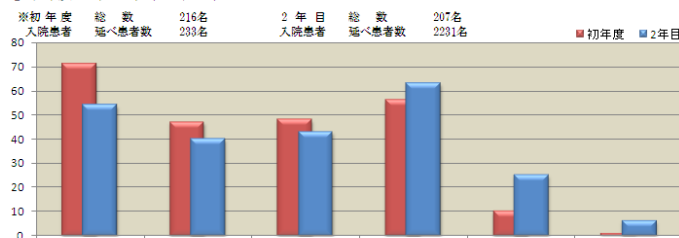
65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳～	合計
169	198	37	1	0	3,920

③ 二年次来院者の年齢別は前年度と変わらない状態で、高齢者の来院は少ない。

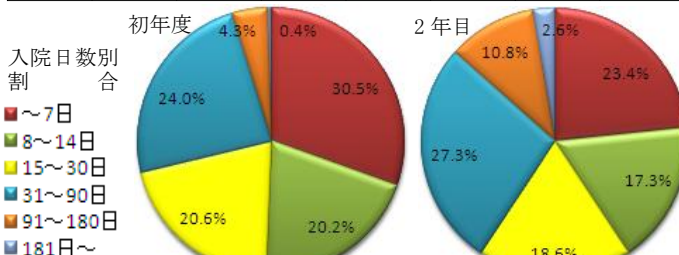
④ この2年間の新規来院者の状態を見ると変わりがなく、乳幼児が全体の15%を依然と占めている。20～50歳代の働き盛りの方が多くみられる。

⑤ 入院状況を見ると入院患者207名、延べ入院患者数は231名で、前年と余り変わりなく1ヶ月以内の入院患者は全体の60%と前年に比較して減少するも、それに対して長期入院患者数が微増している。

⑥ 初年度と2年目の入院患者比較



入院日数	～7日	8～14日	15～30日	31～90日	91～180日	181日～	合計
初年度	71	47	48	56	10	1	233
2年目	54	40	43	63	25	6	231



一考察

今回は昭和54年と55年の二年間における患者の外來と入院の統計的処理の観察をした。この時期も依然として少子高齢化はみられていない。しかし入院在院日数の長期化が徐々にみられている。

「落（ふき）むき」

五月八日（土）毎年恒例の「落むき」を行いました。例年は連休中に行っておりましたが、今年は天候のせいか、発育が遅くいつもより細くて小さかったようです。落むきをして貰う入居者様から、「こんな小さい落採ったら、山の神様に怒られるよ！」とご指摘がありました。落むきは指先を使うため老化防止になりますし、しかも美味しく食べられ良いとこづくしですね。



「負担限度額認定証」の更新について

現在、食事代と居住費は、全額自己負担となっております。ただし、年間所得二六六万円以下の世帯（市県民税非課税世帯）の方については、個人が負担する食事代と居住費に限度額が設定され減額されます。個々の負担限度額を決定するのは、所轄の市町村であり、減額を認められた方には、市町村長より「負担限度額認定証」が発行されます。

この「負担限度額認定証」の有効期限が毎年六月三十日ですので、来月更新の手続きが必要となっております。現在入所されている入居者様の更新手続きは、昨年同様施設でまとめて行いますが、市町村より出された結果については、個々の平成二十一年度世帯所得に対して判定されておりますので、御不明な点などございましたら、直接所轄の市町村役所「長寿介護課」等にお問合せください。

介護保険負担限度額について ※単価は一日当たり

区分	世帯所得額	居住費(室料)	食費
一段階	生活保護受給者等	0円	300円
二段階	年金収入(年間) 80万円以下	320円	390円
三段階	年金収入(年間) 266万円以下	320円	650円
認定なし	年金収入(年間) 266万円以上	320円	1,380円

六月の行事予定

六月十六日（水）午後二時～
「おやつバイキング」二階 塩屋岬ホール
六月二十日（日）午前九時三〇分～
「父の日」お茶会 勿来ユニット
六月二十三日（水）午後二時十五分～
「ハーモニカ演奏」キャプテン船水様
六月二十五日（金）午前十時～四倉ユニット
「買い物と外食」マルト君ヶ塚店・スシロー
六月三十日（水）午前十時～いわき市平白土
「菖蒲園見学」 薄磯ユニット

【六月のお誕生会予定】

六月一日（火）
薄磯 鈴木アサイ様 （九四歳）誕生会
六月二三日（水）
四倉 有田 ミイ様 （九二歳）誕生会
六月二四日（木）
薄磯 稲村 マサ様 （九八歳）誕生会
六月二五日（金）
永崎 大橋 マキキ様 （八九歳）誕生会
六月二五日（金）
薄磯 齊藤 祥子様 （七八歳）誕生会
六月三〇日（水）
勿来 国分 桂子様 （八二歳）誕生会

編集後記

『望洋 荘』便り
平成二十二年五月三十一日発行
発行所 いわき市

社会福祉法人 平豊間字合磯三十九番地
りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255